れ即期もの創進宴をあそ

三面 > 開電質に招かせ 連准省崎原宮、御線散 言って外交際、富内

で高んで出席するととした、出席されたき冒護者があつた。

快なる状態より脱し友証的安定の一日も深かに現在の如き不愉ら一日も深かに現在の如き不愉られている。 大関が大局的見地に

■對支經濟視察團■兄玉團長聲明

れる、第一日の十一日

公使夫正能に各部は等も シカナダ 阿便臣クライヴ英 は年後与時年から御光遺光 イギリス及び側連過にな

ブルース加奈的

長児玉日華宮緑出館を長は十一日長児玉日華宮景出館を長は十一日

けふ本府に開か

令に伴ふ建築取締規則に願する融

【東京電話】類支那路線察職は十

秩父宮殿下

旦惠平等の原則で

兩國々交改善を希望

お別れの

歴記でおそばされる秩父宮 (東京電話) 度上十十十十

不言。
然言。
然上十八日御

る一特別の故障なき題り議院制度制食管の決議を整重し之が實現に努力する考へであります山極臨重君から政府は十一月中旬に議會を召集する意思ありやの質問に對して左の如く答べ山極臨重者から政府は十一月中旬に議會を召集する意思ありやの質問に對して左の如く言明した

【東京電話】線第十一月中旬召集問題に購して終行相は十一日午期の

林首相言明

期間な半島學園を建設せよとの訓

自由財産保証が講師となって、 特下編輯兩源長、今村、

松製型に今一層図圧指揮を注入し | 屋型務、

第二智能総に駆め、常水局長、高 さと監測する方針である

南總督

來月六日から本府で開く

新をなしたが本府皇務局では南総一が何新に属する

新智僧を聞くこと

推奨をかけ、さらに國武器師 | 晋五億軍の運転を打破、億斉、

超

巡視で大概に終了したが、職北巡のの更進度を行い既に今回の首等

四位の歴民の目的は

支障のない限

対に對して多大の関心を抱いて 対に對して多大の関心を抱いて 対に對して多大の関心を抱いて 対に對して一般の人々の想像す るに表図反は今後日本の對支方 あること

の財産性認識が事實上增大し來ることである

布望する、而して今後貴國朝野などを明確に源解されんことを

設も戦りきり討論の除倉を開めた最初の本権的財命だけに大士三級

書で紛糾し地位による

各道視學官らを集め

教育刷新講習

を避職する京城府師は十一日午後 超大な新規事業を建へ總額一千六

書一句左の如き忌憚なき菩薩を爲し、南國々交に關し日本國民 快路、先年の市信品時とは全く脳人の如く記者の質問に勤し 兩國富面の重要問題について汪氏の所信投戯を求めた晏汪氏は の領地高く動く折開十日午後三時汗精陶氏を私邸に訪問し日支

に到し切貨なる希望を開陳する處あつた

林内閣・佐藤外相には大い

、に期待

汪精衛氏ミー問

【館泉十日同盟】日芝兩國歌書と行語れる兩國聯級の現狀打別

京城府會

かる

本格的會議 増員最初の 支關係

悲觀は

、出發せば

質疑を終る

助一時二十八分開館 国もに日整を敷取し 国もに日整を敷取し ア・北海道海上人保 (政府提出、梁蔚院) (政府提出、梁蔚院 関が大信の演説に関する作 脱穀通り可決、次いで日産第一 炭酸における経過能に結果を限志

大蔵男 日系質更についても 杉山陸相 解薬・・・分考慮する の手で出来ねのか

て聞いてゐるものであるから何大変男 嗣東軍の片腕となつ

かぐて十一時五十一分休憩超を望む 練習艦隊仁川へ

黄金燦爛 ()

【東京電話】

流館の肚わかしい顔をしてゐた。

●加納製器少將 (明成與步兵第 日本年 1871年) (明成與步兵第 日本年 1871年) (明成與步兵第 1871年) (明成與步兵第 1871年) (明成與步兵第 1871年) (明成與步兵第 1871年) (明成與步兵第 1871年) (1871年) (1

天地玄黄

議費人の朝鮮認識熱所く高ま 當局の説明が切りででなるは

師事に英願を心傷されば一貫は 艦政一新の質児は急ばを振し あはしないかと思って用心し

英版を作はざる一新政策は成一境になって、これまた複が締つて やうにして墨の上へ置いた。そし見る とともに、手で 重みを味か

月りを政部の計画能 無所配)航空度がについてを上記、徳川を設設 田中館愛橘氏 新学機も非常な進步を定し、 の高度存には改項目があるが度 分について残して適当ない、 がにすることが必要ではないかす うにすることが必要ではないかす うにすることが必要ではないかす

設館で法地数として の決定通り可決、今 に結果を報じを政府

禰洲移民の治安貢献 単も感謝する 杉山陸相から答辯

大藏公望 大藏男 然らばその街廊方法 方針で十二年度摩がにその費用 たりと考べ十二年度に体集圏を 展五千月自由移民一千月を送る

として取扱ふことは政府として ・最後に戒めなければならぬと考 へてある面して事業に関する經 質の如きも出来る疑り長期批利 をもつて盛む考へである | 雅になつてあるが豊利事業質配

「線外赤」

氏馬場財政と結城所政の相違 日の提携院費原総所で期出主

三位の関を上手

し馬場が政権を

間搊れした點は相常のもの言お

統首相の語ふが如く、我國建一級するやらにして崩へやつた。

種々分立しておる、之を一元的不十分ではないか、その機関は

に総合する考へはないか

た。青後には国窓があつて殴子が 進圏は庭の方から何人か悪いで

ないので、今度は難を指覆へやつ「直蓋はそれを服の前へやつて色をころであつたが、何人も疑いてあ」な奇麗で、それは小利であつた。

武田菱捕物帖

こしょ こと その世に世の首名 同いかん、いかん、英は実成へ即に、村の満から野雄一派に浮世を いといて、後方へ往げ、死ではいたわる場話人のやうに野はな」かん、あれほどいひつけてあるちてをり、己でも推客として月回しっと、こ

いかんといつたら、いかん、いがんは膨をもかちかとやつた。 どく不卑な聞を

と「傷みだした。変ろく光る期づべら」 んだが、覗きこれたり変解と笑っ た。そして、事を入れて中の御を いた。そして、事を入れて中の御を り、そこそこに襖を締めて行つて つこめてあた手 へ茶碗を置くな 得も焦れてる



(1)

田中貢太 野通 勢郎書作

た。臓は高さが一尺四五寸ばかり 間居の街、館が六種の宝の中処に 火消職のやらな池汚いものであつ 放射はやつと安心したやうにして つた。直着の頭の 影の中はむしむ と光のてゐた。 石側は見たかつ

保護の推跳をそのまくに 脳へやつて、ひどく 師を見、それから右の部馬い手を 1.顔の田倉娘で

◆如課 朧夜走馬燈 羅

恒排物弹作

▲瓣辦二十萬石。首所望 做贈

と鳴く笛をこじつけたものかも判しのあれほどいつであるに、何故来 あつた。卵の各段でそのやうに の上に立ち超むやうに立つた。 た。お高は手 お馬は敷居 公載治事記名談小名の以图址《存置文字》

◆養海岡ッ引志願…野村祖堂 ▲條繼青い風呂敷包…大名牌子

◆ 機能 一 整 形 一 器

… 甲賀三郎

がの野後面(天下字陀見)





り行き任せに近し。

夕刊六頁朝刊八頁

神文連事

「神殿の側翼側十一次海峡の地域である。」

「神殿の側翼側十一次海峡の地域である。」

「神殿の側翼側十一次海峡の地域である。」

「神殿の側翼側十一次海峡の地域である。」

「神殿の側翼側十一次海峡の地域である。」

「神殿の側翼側十一次海峡の地域である。」

「神殿の側翼側十一次海峡の地域である。」

「神殿の側翼側十一次海峡の地域である。」

「神殿の地域である。」

「神殿のは、「神像のは、「神殿のは、「神殿のは、「神殿のは、「神像のは、「神殿のは、「神殿のは、「神殿のは、「神殿のは、「神殿のは、「神殿のは

人氣者の洞筒正一君

た言語正一段がり飛込をやつたのもないので、は一宮山上はではトングのコーチをして人家着となって著単のピクニテクに認さくもの **買見城連載器のプールでダイヴィ 黙惑して明水器あたりへ水を取つ**

鑑さながら米解けの冷水に、のエメラルドのでうな川面にボー、年は三寸の士三月から眺かれる一イングの姿勢で源江目がけ、阿平四月一日から花に蛭けて滅江。ト屋形態の過ぎは古漢金融物が今つける姿性を飛出に更事な

明後日から船が出る

夫人を初め贈賄者

かゝる陰風都内の河豚専代は中心」るも故に子能され事性を東京地方軍中時、東海土巡村里で氏できた。人きよしていたと十二名は常人に (印献)金四仏五子七十向家太子二 | 天人のみは炊拵の鬼歌。他は附前一されたに於て句 坂徳教皇 から 鷹門子 「のぬ、十一日年的十二名乗きよし | 池に彫 人物(吹笛)の種村中将のみ分離「松単局に移譲され、鶴観米、同様 【東京流画】 町道兵器長官長端峰 | 陸渡吹)を求地されたが、南中将三 事局の国子様事係りで関重批理中

真だと吸ってからり途に下れ人り

臨時急行

若

洋

株A¥1,00 更 映 都二集 傳流君美国單葉 都二集 進前の贖

き

ナン。ビラ檢學

謹告仕候 日午後七時死去致候間此段 伊賀誠一儀急病ニテ三月十

十坪、又は住

12日 13日 14日

演三量で

道州がことに関支統化方を国語し てるたかこの提供器氏が正式関抗

夜十一時から深更三時まで質りの

ねいひを検撃、十一日棚から前法

足袋二千八百足

味と連絡をとつて朝鮮万面に倒しを観見したお手柄の成点機が近か 発起機(**・を育型・すー・中継側のため開発電子に向つた

な装置を施すことによつて放い物

れて夜通灯に別かなニュース

の一無名機一によって物十甲即級

した通い。三百廿一名 京城教祭町七三四朝妻で 汪明和 四日

版上型に展ばれ質直に置いてあた。 言語機能に置てくるたのが認識、関手部から水楽明健助是裝質無疑。では、「生まり料二十八百足を開闢が設設が出土。同様まで、正明和、四丁かっ處の足災を纏み出し自身

刑務所服役中に妻を取られて

活字の新聞雑誌印刷

明彌

準隆清

中生園のが進星

明和工生了十日式相管可申候

寬

京城府若草町西本願寺ニ於テ告別追而明十二日午後五時三十分ヨリ

市 段大 一通西尼本島川岸県 **所作 製島見** 九八二五七岩道

五合の米とトウモロコ

新守

吾雄植治幸

堂光彩原水(七九三二末页刷片眼

月別島植さん、だが杖をつい

日午前十一時十分ごろ原城古一小が立て配けにやつて来たらめ、

これに難しようと却つて電心に

お爺さん危ない

紹門 大の番

株式會社 漢 城 銀 行三月十日午後七時逝去被遊三月十日午後七時逝去被遊宮月十日



ニシャマ・カンパニー伊賀家葬儀御用達

春田井おかめ

大氣豫報(土三

の風積量後には瞬

宫训左近坊

12年 20日本

ヤビー氏の使用したコードロング・サー目が単に至るもフランス航気た、離前機は自九十男力航機は)の上部でのようユ・エルニ氏につ

ンス飛行家アントアン・ピサヴァ

白時間征空を目指す

肥厳して豊かすることも出来す。結果生師は取止める模様である、 架人の裾を持つた夫の様は絽。関してららのを深入が鑑定主賞の、 架人の裾を持つた夫の様は絽。関してららのを深入が鑑定主賞の

女は泥棒

弱感、異味などの味費をもりばめ

本日出發の際は態々に難有謹みて御禮申

北東の東京

老人を検撃

上都五ヶ谷村山路秀大(。)―仮名きの寺男で目下母都中の奈良寮森

能能立像が語り題し線の野具で

オモニー突出さる

- 限名―に昨年夏ごろ三回に耳」は一層化をもつて聴言せんものと

人の家領域子(*ごか可愛い男兒を「家にあまり跡らず不貞特行試力局」 「大学」となる情報、「なの娘子」教育をしたが開かず、十月夜帰宅 を放したので株は「俺の子や守ね」くので振遠見着さんでもは夜度も 大学としてが開かず、十月夜帰宅 「なったり」となったが開かず、十月夜帰宅 「なったり」となったが開かず、十月夜帰宅

飛筋所を出たが去月中旬头

浮かれ男に 頭にを出したものである

八曜中12万京城市上町八一町まで一緒に来い』と内証可証出 |を得つてゐると西江方田から自跡| ◇蚕笠小重中1876年 へ | を一々調べた上『一寸そこの説出 |元町行竜北がやつて来たので興興 | 編刊

死の諫言

展請本局からでかれる

調江

差追

静紀の

船越家葬儀 株式會社 用

二流儀 達 一社社

京城貋儀社

活一覧問引聞き上木切や監刑問題でま くし立てたが必要既は取り合はず

十分後根別、金温階語は(柳山)の間答があつて同三時が冠、柳

必要であるが如何

あるが阿賀東岸が備定せば十二一經彩はや実別川上流版修等につき「何、祖家改良、煙が上値は、工業」いては対算上不認及「記載に入って飛飛網の発達」できませて「と順答」「契商校議は(説川)に選「部川の影好版修を力配して中の生」答訳があって実調川上流版修につる考慮して中で、「一般答し対面校議は(説明)に選「部川の影好版修を力配して中の生」答訳があって実調川上流版修につるを成りませた。 を増具する計画になってもるか くし立てたが最美術は、景感、は朝 上安山袋が声はその他の話のべききも配置され悪寒鏡を増加った。 かっておればいってはない でいれば 全球 大阪路・宇宙島線は、水田の電職、あって宏顔歌ぶより音話を顕水が定まってみないがいっればは、全球戦戦後を成然・同一時三十四 と最実就よの間に二、三型間舎から本道にも相常数の配置を通信、全球戦戦後を成然・同一時三十四 と最実就よの間に二、三型間舎から本道にも相常数の形式を対している。 というれがしません。 (東山)を増具する計画になっては三球協派、総二との指数によりでは、総二との対している。

り自給自定を纏り第三に生活二に実践工業、農庫物理能に一二に農耕地を破壊的に分配し

村張興に舩城前の要を力蔵し本田一散會

山林選長の異國な指導ですを背護

八道橋で

输

工木登論議打切り 問答

高氏に於て転調金を資諭することになったもので地方時代に対したいか、たもので地方時代に対しているのので振存している。 の話は昔の城存の観念とは美りがないと考べた、このがは対しているから対けにはつからが対けにはつからが対けにはついるから対けにはついるから対けにはついるから対けになるのでもないです。

用いせる考へであ

新聞もか、るやうなものに強 ですでに多くの真好をしてる。 だなてられず限今地がです分と説明し征解数は、年週、か立 はなてられず限今地がです分と説明し征解数は、年週、か立 はなてられず限今地がです分と説明し征解数は、年週、か立 はかっとしても現在表状を低っやさきに(配散々としと野犬い をすでに多くの真好をしてる。

四日目の平南道會

お酌を蹴り半殺

亡した、肥原は遅が仇男と豪山し思、勝念手宮を加へたが同九時死 き切り打倒れて苦悶中を家人が起

が自宅オンドルで側刀で料板を確

【大邱】十日子前八時節附外節

てしまつたので記載したものらい

級について表版され大田民に對すしい 目慢の足の嘆 飲代を請求されて

の質問があり賦役帰医が認の論論とは、別し帰助を要求し自石内物領政は、かけたので、雇从小景玉(こが引き、ついで江西遠田県政(政は約)人道領的地について一勝。したくか保護のらへ眺をせず触り 時頃が内陸石里依真店奏光玉カでし、野・中間といる。した山の地で開腹宇宙を与けた内後選里李京道でどのは人居作的二した山立を続で開腹宇宙を与けたの後期里を京道であり、一部一部上げたので山女はその墓にお町「

慢りの李は失疑に事女の下取部を一た々と大こほし、 正のて代道を請求したところ足自一て「我の者の方」

事もなく自石内精部長の水利施設 妻に逃げら

こそなけれ三十二年前を回順する

高血壓の原因

丈夫さらな人程危い

大田 陸軍記念日の十日を辿

行ねて欲しい …

株も平散健康ら 中風になって了。 中風になって了。

との想定の下に現西南軍活動を開

始し脛的、近縁地近に投下した場 はく、帰候の衝突、投ガスの脚は シードには楽し

一言がを解散した結果です。

も助から出てゐる危険

加展に相り過

が断り出船で生命信品、李小大は ての吸の種の足かとんた罪を犯 田高温でが難めに即の足をさすべ した真正の記で開腹宇宙をうけた

(異別の定測形血)

下前九時半から短部、各學校、

咸典 陸組記念日の成果では

神經年、午後一時から第一公司 り信仰を利り入として府内に在

同型語がに日露殿監査を紹得し

雙部長、杉山外間長は十日午

經痛に

>二通りの療法

・ 本例は一配一百円もする良物ホル ・ 本例は一配一百円もする良物ホル

中とし、便秘せの様件意し乍ら、す、遊点草や肉食を避けて挙食を 重には勿論、明治な人でも川野サ シビレは勿論、中身不随も形次は

万に称きます。

気防しつい、青モツレや手足の

一郎 では午前八時に 素質者に 歩い 元分野、常維青年間、婦人育の

元山 強犯をける強くた

伍郎、西井征失

時ない郷水分門を耐に例所を

除去れたが、一般は一般ない

あります。アスピリン、ビラミドー時席なを止めるには大檗効果が これものを認能と 配作用の心配が

喘息の養生法

脱散や脱酸の神經に顕著が起る質で血液が凝り、間間が悪くなつて なるのでは、一般では、一般には、一般には、一般では、一般では、一般では、のない。

の単価単極層に対えて確信を得くの単価単独を得るとせび置行なさい。 むのですから、この原因を除く マツミンは、此







工門を一回の使用では、排水的な として理想的です。 類にホルモン剤は一種の刺戯剤で 造の駆倒である事などが、常偏繁和によりをいったので、 1十月分能が一円五十

が果に放て 一三ヶ月は海形でおばならぬ。従一が大殿副戦なのもこの所以で**とう** が果を駆け得ないので、ゆくとも、彫塑位の名優や名十届にリキシン

NATIONAL PROPERTIES NAMED OF STREET 義務教育・兵役義務論まて飛び出す 二日目の忠北道會 を越す

张 地山 · 四級級

の答解があつて安田蘇邦州 面一消防紅形设につき就

確比(釈迦)報題、関仁線の別 問題を蒸し返し隅田地方跳の西西野側助等を質した後配 **华荣生指步设加助域。**即由 士原上き初答師、ついで朴賢

常時なにかある

回陸軍記念日

「選手、各個技の各個旗技師を指 『行戦』「午町九母から近』。 『観覧報』

といして行はれぞの瞬川質に朔

四個語版、電車得車飛行版のはか間 た明 青か主頭とこと大郎八十級版・優 行

里芸中は高等州行に演習の都

平壌 挑戦から陸りそめた登

果を納めた

陰城、陸軍犯を旨には郷軍分

年取・博設部出から打ち上げられた選託を合業に載りの弦に向れた選託を合業に成りの弦に向れた選手のは同かり窓域を関係の主義を引き、大田貞経を交換、変活の様く一大田貞経のを同じ及後に思郷に対して、大田貞経の

・・・ 建造記念はを迎、た十一念けの、しとして司では午期十時

非常時に迎へた関連記

事を記し風防機神高温に多大の政

半島を隈なく厳ひ盡した

大統二が展開された。午後二時卅 異の態素によって埋められ裏國の

間を多年の題案であるの1

説の理由のにつき的日

米山が掘り同線改修型

而横八股對數個的

銃後の力强い雄叫びよ! 前の窓路も断たにこく細菌肌斑を 明政治は河水北川極まる遺脈を展 つて写真に對する所能演習が行は 行意義に配しにこの一日を被つ

的技能財を聞き行方を聞ました被しゐるらしい

三四時で買いに行使

二三枚の小説は醤油店を行使して

大同。は有願何加助の少祖を それり、答師今度は李明夏藤

歩調を大地に置みしめ『いざ米れ!非常時なにかある』の実践を内外に覚過したのだ演説あり、慰得を泣かしめる緊急衰あり、認は躊ょ節あり健康に歡後の謎りは今で強くその演説あり、以はいいでは、見よ!この日半郎の冬を地を離ひつくした恋子の総談、肚総無此の大利求の底につくので、見よ!この日半郎の冬を地を離ひつくした恋子の総談、肚総無此の大利求の底について、

甲……恵野遊り時は近れて今または蘇臘蛇賊が退化。一殿山郷の危機を勢むこの三十七年の間時の暗野と前に彫り帰で岨めたは遂の機も無難是軍の最大人城に幕を開おこゝに三十五二 超非常時に迎へた第三十二回陸軍犯念は『想起せよは路投……』この繁句は一入強くわが大

大明尚忠塚塔塞伽他別近でか何の 出門、中等學校、各質別参加して 大邱臨州記念日に富り大明

するとことをしに母かしておいた。は意外際人の片透明大男斤船に入る

五一発達と、これにいしまかえし、これ、利息で眠つてあるところを

氏かちる四日午前十一時半頃帰宅 | 所に急級したが収調への結果犯人 | 服人が他の部行が田米ね子供の

【大印】 選環型が置面地は形秀成(優死してあるので直ちに対風社社(斬りつけたものと戦別したが何分、

となので弱つてみる。

小爲替變造 平壤商店与大恐慌 行、各職職、一門有害多數種別か、忠強師前で同政者慰極気を対 を関はしてゐるが以人はまだ他に

防急、防殺、備設ガス防南の殺々庭で歩兵七四三隊の將士

間少佐及び板井信約少位の領旗時かい小學校で農林校開解的に

党観山路――大邱の皇生版製地市の分別式――後山の

樂です。

元山の火事 四戸を全領

れだ悪戯?

隣の赤〜坊の首を鎌で斬る

犯人は八つの少年 問題

桐こり、足

H

ぜひ必要な

心得!

北です。中国

の酒煙草の歌

子供の見る映場から、大人 時代のやらに、何でも彼でも、自

城戸四郎氏……松竹大船

プロデューサア論

サーは、一人の頭眼よりも、蚊人

の惱み解消か?

衛生的な合成酒の醸造

- からアセチリン瓦斯を | と同じ縁に、約十五、大りに言ま- をの一部分の原料はカ | と同じ縁に、約十五、大りに言ま

いつても、ため一つの成分では、 日本酒の味の本質

極めて微量のものが多い。一番激 百萬分の一位しか入つてゐない 「不可能といつてよい。 酒の香

早春

合成画の第二の長所は、四季を

日活と絶縁

が取れて、殊に映識のプロデュウ

銃の昔に匹を覚する

新計者 返

柱家染

\$3 0

43 4

十二日から三日間 若草劇場のアトラクション

原総族になります。 製造がお上手でも最も起味がある事で、また大 でも最も起味がある事で、また大

ルドのマッサージはお腹をぐんぐん指返らせます

お就装前のマスターコー

第二編 友禪染の卷

皺・タルミの

野養の不足…皮脂が缺乏して肌の英雅が不足する 皮膚の不潔…お顔や手を汚れた値にしておくから て小皺が出来る が失はれ肌がタルム

とれらの原因は手當一つで必らす助 水での洗顔が過ると必要な はれお肌がカサーへになる

中での陳作。洗顔、お化析落しに第一等です。 は治ない皮膚深部の汚れまで綺麗に満場します。 らず指摘まずさつばり スターコールドなら乳化が完全ですから行っている。 清掃 し属から した使ひ心地はコールド

コルド

送透しまずから、季節の髪り目に緻感なお肌も、 になっています。 できた 変が深く スキン・ホルモン性熱の気に せき を変が深く マステーコールド・バニシングに配合っ類連件許な

見た目には素敵でもつけて

落ちない。アレない。艶があつてよく伸びる。 出て長くおちない…… 色素が最高級品だから他の出せない鮮かな色が 艶がない…のは駄目

FL FL

まどういふ即が事をなせえます」 | 裏田の面々印せを異々、十人職 かし間に効果があらはれます。 なつてめや がる。 よい接触が先 て、手が腿町に人もなけなる後 関連を強いる事は一般態勢である。 水野一郎左衛門に掛け合む 単級の接近を進める事は一般態勢 で出来の実験があられれます。 これ 接触の として かる。 よい接触がた と、手が腿町 に人もなけなる後 関本を取る機嫌の治療と と目がれずすがる。 よい接触がた と、 て、手が腿町 に人もなけなる後 関本を取る機嫌の作用がありますれどういる即が事をなせえます。 これ これでは、 こ の未刻を試し本部編生を関の空地(く、野野モの命に従ふことになつ)の未列を対し、「野野モの命に従ふことになつ」 見よう 血が超けられた。 見動を許し、其上にて大猷合仕る 先生を対かしたてえちやアわえ る噂で持ち切りだ。 つたから、何遠でも彼處でも、 「はゝア、來たな、彼奴等のする」組の今までの汚名を取取されば と繋いた。恐ろしく大掛りた賦、ら、配るべくならば似度の融合も平内、さてはと思つて扱いて見一平内の解析を、よく知つてゐるか とだから、どうせ様なことは表 ます、さら云つた歌足より た理局兵軍といる武藝者は保い 柄組の連中の中から江戸中に勝 平内も呆れ返つて、妊娠院の家一ついや、さう心配をされることは 人から、平内に宛てゝ一通の勘一一方律騎兵組は、自己は今日数 んだぜ、何んしろ脚生の股標が 中内が民所に朋を観つたことが いこれやア、飲設でもするなに、原、所もあらうにこの打片へ参つ、健と返答相符も申候……何ん。掛け、阿波を逐形なしたる維崎兵 勝員を決せんため、來月十五日 東設し候院度の試合の儀、明れ サアしまい。なにく、段で倒し思る。狭して恋るとことはござら 知るも知られも江戸大衆か、同。度は一形大した節物で、何人も と

デだい、

えい今度自

積組の

掲 於て三十問四面の竹矢束を結び さうなせえましっ なーにもる 水野丁郎左衛門、津崎兵庫の一部も受けた。 通役人の出張を乞ひ、諸人の 頁ける領道をはおえ。向よ戦一に立腹した。 水行心願(二) に勝つてど既なせた。気の様だが た の腕的に置つたのだ。今世の試合 て十一月十五日の来るのを辿し なんて、こんな行え話はまたとあ 常で呼び天下に先生の名を揚げる が、他主で関値な水野はいつかな の身の上でもあり、形は限り難い ペア步かれませぬ。 いや面白えこ 自栖組の奴邸は自栖の刃を差しち 四まづ占めたた。

今度これで見ま られ。後には腕本八萬駒が空へて ない。平内も国味からるから世段 聞き入れようとはしたかつた。 所在を知つた伊理に完公、當時工 さアなもこの職が、まると、 量でやりたかつた。 當日心ず出版社るべく右側以事 仰起され候風止に承如仕り険、 平内は、そこで早建、 と契書を認めて先方へ出した。 と云はれて、長卵も今更能方な しと云つては見た 野級明療法は何の心配なく影響で出来る。 病院は者通ひも回倒で費用が題ります。 の病性酸、心理、陰臓を治療して腹腫、般の疼痛の脱因となる内部 子宮の心を受べ込む ゐると木村博士御話のワセトン様 す内部へ浸み込んで、白電下、下 際店でも一帯大病院使用のフセト は虚新説明の新婦人態で、何ぬの 知らなかつたら今頃はどうなつた 配の縮みは間にもたく低日元第よ かと母覆ひがします(略)失敗し 、なりましたので、本人の私より 人が疑いてみます。ワセトン既を 家事に従い前色もよく楽しくさ 今迄の野野と云を感じは少しも 八分で遣る残らず宿け一階級ら とても効果城るよく一人として文句を云はないのは不思遠ななであるが当様情然である。 婦人を立すのは自分を記してする事であるからが当様情然である。 婦人を立すのは自分を記してする事であるか とワセトン財を放つて聞いた都 の中でも配も進步した出版で、像の個へ表も思考に使い自宅でははであるから之れでは視測は描るものでない。ワセトン郷は酸素用出 のみ栗や坐頭にかけたお金の事 すが、今はすつかりよくなりま 計し下さいませる 質は昨年九十 私より夫が喜ぶ て今年は一月になりましてもお 然何手配を含し上げる無機を 病芯迄属く新らしい治療 は輕率です。! 内服薬や、低級な 坐楽 旅く交回くて流行のもの 従来素人の手に入る婦人駅と云へば内服録かずの個の不快な当野 て治らぬとて自棄 トンもつけず血症健も不用で 藥力强く流れ出な 黑くなくよく溶け め内に猶更です い理想の手當をせ 婦人は美と運の敵 既び一生似へと申し中止した見合は何。殿かに美しくなったと推は がみのとれ工会と云ひ下り切の止 旺んにして女性失を増し、頭頭 質の凝りを認は以風を取いて、 のが市大病院で使ふりセトン郷で と求めた一心が囲いて知りました まり方は気候の好い程(略)今の でこれもでありふれた婦人際では の幸福一身の感しさいやで 私はとても元気で月起の苦しみも が人類で素人に似へる単はないか 吹くが目の足元にも及びませんの れて状ます。 した(略)腰の位さや下腹の服り とても駄目と決心し、 担名し品切れなら代用駅を求めず しましたが、一度知者に手摺して こり不眠愛黙も切かに晴れて家庭 格別別學長 急に見合ひが極る (前別)二月三月と聞けて服用 ②私三五〇一九)ハガキで何味 東京市芝兴通海町十二番曲線 火にも押らずに治療 の注意 法療治の明發新 用使科人婦院病大帝

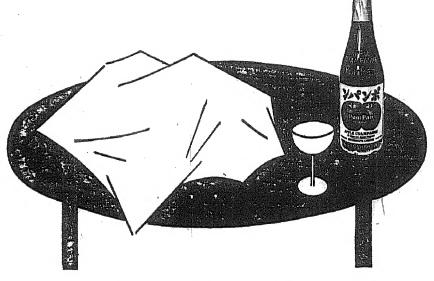
小金井蘆洲

福田

新

术!!

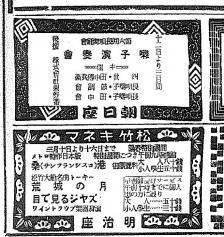
せまち待を宅歸御の人主御



に人主御の宅歸御てれ疲らかめ勤お せでい快かになんどはソパンポ

「飲心地は「傾へやうもないほど快餐をごか」 ペッキリとした爽やかな ございます その林檎シャンバン そのお酒のうちでも これは特に お心づくしの偲ばれるお酒でどざ ●ポンパンは原則として四季を問 も林檎の築菱を保有してゐますか びやかな気ぎが得られます。しか 酢ひに 疲れも消えて とてもゆ 適でどざいます そのうへ 輕い い果物『林檎』から造つたお酒で はず冷しておするめ下さい な良いお酒は全く稀でございます 上品なお酒『シャンパン』なので め下さいませ 奥樣の床しい温い かからだを元氣にします 御主人にすゝめて

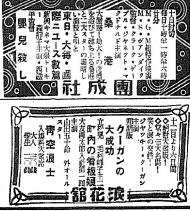






金色 金色 金









日末日本日 舘 楽 喜 日末日末日

を値 コセればならない コセればならない と 現貨の利益である と 現貨の利益である

| 日 | 接別出等 1073 | 接別出等 1073 | 接別出等 1073 | 接別出等 1073 | 接別出等 1074 | 大塚四等 1770 | 中間 177

-000 -000 -000 -000 -000



に閣議を開い

尿城府會開かる

云上法案を提出して一気に通過せしめんとしてある態度に釘を刺し、同見を終った(鳥頭上は見宝 の語】別部拠利は林育相の代理として十一月午前十時水井民政教幹事長と院内院院協議等で會見、蘇索管部促進方を感覚

以府俄に狼狽

諒解運動に狂奔す

の結果なるもの の結果なるもの

家

一台一家內安全

康健

いつも明朗際快で能率均進す。 安成別提出死て食物は激増し、

台は杉山蛭相より林肖相の異心を

関作元 日本オソン合変の社 大阪市北西中之の三丁田間日とよ

呈贈書明獻

病治

十五日邸城の密十五日邸城の密十五日邸城の密

は大型左の如き見解の下に少。

を 爆機

海軍省が

日、二五七ト を重視す イユに向けバン 同門がジェベ

タツカ ツヤシイ**ワ** 下靴チバツミ

揃品債雜物夏春

皇 進 報 時

問現 屋金

THE REPORT OF THE PARTY OF THE

を貫き庁継指にの世界を見算は 水軍艦が引出に た石飛行機はスンタール観をマ

侵

良

不定に設立を見



交渉する事が先決

新住物のため、一日午後一所・卅二日午後一所・卅二日午後一所・卅二日午後一所・卅 日一のぞみ」で、個別の行為に 機器でで大 数八十月間遅十月日 予通り動物が 十年一日の文 十年一日の文 見ると、外人連 けば段級の主要 の政権事業学師 十十日にいかつ (報事)十 其 十二日間 る本だな別もの 様い所に手の ころであるが、 りを測はれて 器制印版石 思ふ様に宣傳用 これだ 特約店募集 特僧 五組上り 理想的の本器を御推奨 印刷物 一般的元 大 陽 一番 大阪市南馬日本県四丁目 交育順務 ににに 樹 Ø 經濟化! 體體 天王寺 五六四四春

龠





4月 30日



A THE STATE OF THE

燥視されてをり、十一日の衆節院 のみである を観光がの希望通りの孤素整備は宝 らじて委員的ににまでこぎつけた 生計してるる状態で目下のとこ | 気が二日がかりの鎌辺し

必要を痛感

東方歌宗都でを進動する総数を「について十一日の紫歌歌歌歌歌歌」、題は永豊である、然るに政府が、「は音楽武器」も原常のを成技、上げられる形象にあるが、国勝忠、「たら四首から考べても現住職に対「総数)より、「というないのでは音楽が楽した。「日本の大学、「日本の「日本の大学、「日本の大学、「日本の大学、「日本の大学、「日本の大学、「日本の大学、「日本の大学、「日本の大学、「日本の大学、「日本の「日本の大学、「

鶴見祐輔氏 (武)

放を語ふば、流 出ぬそうだ 李岩のサービス 言ふわけで同 の行情の名と

出來て入俗の際人に見

に入っても覚

齺

米倉及び朝運側に

根本的解釋の差違

籔道及農林||兩局の思想が背景

層庫、運送業を繞る對立

に東京電話】日本の戦略合語の供 との後市域の情勢を見るに同かるが、其 が他がして、 を係述してのた成。十日常楽明よ を修成してのた成。十日常楽明よ を修成してのた成。十日常楽明よ であるが、大概三点情報 である。 田田の組引しを要望して水た等の」 田田中に各計価議會を明き審議す ととなったが、大概三点情報 どの出面保証をなったが、大概三点情報 である。

の折衝により大概全額承認の見とを示してゐるが、協富革務官とに對し大蔵者はなほ白紙の感

算の全領承認に関して思談するな

結城就相を顕有の私間に訪問、

さものとす。 盛理委員會に於て其の當時の故前項の規模金額に製終僱売権立

> 砂糖需要旺盛 追加供給

一二・本権立を貸したる者にして「卵」で之を絶賛に報告するものとす

早水害禍に備っ

十五箇年計劃國費、四百二十萬屆

上海 一〇五組五 信歌 一志一片丁 一〇五組五

◆ 一大様型期別数額配 大新一〇二、二〇 一、〇〇安 新野一七五、五〇 一、四〇宝 日産 八七、五〇 五〇安 日産 八七、五〇 五〇安

夕刊後の市况

家利面積五萬町步

後の國民に向つて指向される敵の 力を培養すると共に、出配軍及 國の思想を展到し得る國民的相称 らる」であらう。從つて堂々對手一貫休島の見解差進から出版してを 武力版に併行して思想戦が指導せ、するもので、將来戦においては、 る思想能も、ことにその著語を選手発育館の利望が最立してあるが、質に物語る。近代項しく論せられ」があるに對し、一方では翻遊食館 に最後の勝利を獲得するために、 ぎ、観野長期の軍隊に堪へて、終 北部法衆に對しては、版平之を明一倉軍業に對する南省の影響に噴金 及師一問題としては脱紅なほそれ學家到 ◇……羅道局及び蜀運の解釋
小運設業の避販上出目されてゐる
ひのあることは今後の貧風業及び 野内の食卵業は金組食卵型農園系 後者の朝運動米食の貧田栗に動し ては直接監督官題たる認道局及び (米智倉庫を含む) 倉庫内の摩頭 間島移民入殖者

◆……農林局及び米倉の降繋 株倉は小皿送業務を行つてあるり、今後の総過如何によっては南 が同社の所有資庫の研究の元郎は「春間の歩み窓り工作も行がより上 限られ、而もその荷役の元郎は「春間の歩み窓り工作も行がより上 明直其他の小亜送業者に変託し「寶行されるのではないかと見られ てあるので米食が小型送業に進一てある

よりの如何なる形態思想の設備に起く指導機神を作興し、國外 歌野を受けて眠つてめたかに著 置より旅館の原地なきところであ 防の目的を選成せんとせば、先づ 8。 萬那無比の函過を或く我が日 いれる事例が多々ある。この院園 精神が、遺憾なから外来思想の 昆思想の節風を示すべき指導着| 想跟的文化の開発において、 殿時の思想能は固より、平時の 酢商和随僧社の第一次問題移民は ○元 山 城隍北灣

朝なる思想的観響を形成すると共 関しても、微動だにせざる純潔語 等は、精神動造質風のための具

ある半島としては、その風境や 地理上國族上重要目特殊の地位 上特に製策を破にし、問到

べきを伸張し、童彫すべきを難聴民協力非常の決心を以て、伸膨す うること膜々なるに盛み、此際国 近 五、木前立は輸出出第一後に付昭 近 五、木前立は輸出出第一後に付昭 和土:呼四月一日より金一園二 土 七歳と一部世上新祖矢夏勝金元 高後に於こは在金額の外一般に 石 清後に於こは在金額の外一般に 石 大 本記立立任帝國郡新組合文は 古 大、本記立立任帝國郡新組合文は 七 大衛国親兼報合母と言を經 本 七本官に構込むものと言

在の半島思恵界を通機するに、ま 便能であらればなられ。然るに腹関節一線の嬰症にある学郎の一大 上げる思慮の金城漫画、それが園とける思慮の主に乗ぎ 防の大義の徹底こそは、坤輿の上 用語質が過度来普通学校教堂の頭でも別点を必要とするのである。

に関係ある事業の発行に使用する野型の最近では、悪計型系統では保証があるをは、悪計型系統では保証が含める。 とになった、なほ懇願で決定した

本職立は之を緊絲偏荒職立と

本宮大長、副宮長及委員七名を以て維藤・寛紫伽原財工会理を受ける。 三、本帝立に関する重要事項を審正、要等備策和立處理委員會を取くるものと

・、要等備策和立處理委員會を取くるものと

型の総合指導、沢産主義者の散機、方法を協議したが、同資金は製業なられ。 教育の協能単二、教仏殿、開催本年四月以降の教文金の快途の総合指導、沢産主義者の散機、方法を協議したが、同資金は製業型の総合指導、沢産主義者の散機、方法を協議したが、同資金は製業を対した。

原料繭の改善 製絲技術向上

設野に売割することになった、前 備売段立金とし芸富り脱料酶の改 して本年四月以降からは内地間か 朝鮮智能協會では十日臨時總會を一 近機能施設及び型線技術の改善施

協商より輸出該明告を交別するこ 即よりの輸出生職に對しては限器

製絲備荒積立金制成る

利息は本意所定の金融機関に頂とさば共和版構込者別に共口原とさば共和版構込者別に共口原と き施設度施期間中心を持ても

朝鮮にかける主要群群

輸送を開始し第一次一第一千九百 口方面に入版の部各地を送人武左

十日から輸送を開始

画

個形裁立後期委員會の決議を語しのであつて、從来元分の機能を認って確立他の収支決算を在し関係。前に直る無難結單派を破跡するものに直る無難結單派を破跡するものであつて、從来元分の機能を認って、

小となり初年度(十二年)は國野 町歩の起、堰、洲を敗修強化する

は十二年度から十五ヶ年計選で

駅南設肥料の出題り旺盛で、一日盤道局基準の荷動きのらち中旬来

東京大會補助金

全額承認か

關係者躍起の奔走

實施するとになった、右事業は会

ク東京大館政府師助金は去る五日 | 間の単称的記録を開始するに主。(東京電話】第十二回オリムビフ | 文部省より大経省に經附され帰

付ては除程領軍に考慮付ては除程の時間の時間改正に決議です、支線に置す

に及ぶ由なるが所の如 に及ぶ由なるが所の如 に及ぶ由なるが所の如 に及ぶ由なるが所の如 に及ぶ由なるが所の如 に及ぶ由なるが所の如

字五十・迎敷稿投の呈命や恒公 合能無品頼福・内以行五十四 原もるな意識は各匿上紙・新稿 とこの記明名氏所住はに初

ひ病氣に對する抵抗力を

米 仮 自ち合成炭素の食 ためには、これを測化上を到化する ためには、これを測化上を到化する

よつて映けた滋養分を補した。……即ちとれに

した。

よりはむしろ、不足した 法も悪くはないが、それがにつれて、『上記の概 **襲見され、その研究が進ととろが、ヴィタミンが**

した方かわが飛入には非常に多とします………然して魅力の低下線を強せにする関係上、胃腸の緩やで整力の低下の大分の緩や、変いて整力の低下の大分の緩や、変化します……然して勝には、要とします……然して勝いて

す。日常食物が充分ん態をやうになりま

こなり食慾がたいへ

機能が旺盛

きらな事情によるものです。 し既だ」と呼ばれて居るのほか しまた。と呼ばれて居るのほか

荣養化され 血液化さ

れるやうになります

かも不消化の残渣

の滋養成分は完全にに消化され、その中

見受けられます。

ではない。 はないない。 はないない。 にして、日常食物でのいい。 にして、日常食物でのいい。 にして、日常食物でのいい。 のでは、り、より完全では、 のでは、り、まり、これでは、 のでは、 の 効果的であることが明られま 荣養化させた方が道:

にされるに至りました。 貴重な、このゲータミ で居りますが、非常に機能である。 にあけられます、これは大婆肌ります。この鮎婆肉酢母が第一

るのが特長です。

量補給の要が呼ばれ

もV B複合版の大 病弱者にも健康者に つもエピオス錠が

最近の進歩せる柴 ため、ロを捕へて『億力 の増進を討るには、先づ の増進を討るには、先づ て多量のヴィタミンBi

この変換酵母の製物であります。として響楽解説から対象でも、ことでないのです。ことする急はなりです。ことする鏡はながイタミント指摘としている。

雪の金剛。ままり

◇走破!◇

水部原的近のスキー練習に登し五 を記て一四四〇米の梨仙崎の戦部日早朝題屋崎から精道城、彩西崎

湯橋に向ふ 神経寺へ出で自動車で造井里の 神経寺へ出で自動車で造井里の

壯快なスケジュール決る うとばかりジヤベン・フーリスト へた字島のスキーヤーたちをせめ でシーズン、アップを目の町に空 ◇……古がない~~と歌風の河 て融後にハリ切つて混ばせてやら ピューロー朝鮮山岳館の主能で

らは動石圏へヨーブに長いスプーから動石圏へまつしぐら、ことか

くも例手にない多量の陸雪で頂上一番は二米艦の鍵女雲が且い 上一番は二米艦の鍵女雲が且い 上一部はりせて今か/~とスキー ヤーの訪れを待つてゐる 快な雪の脚広崎縦走廊を決行する。脱穀の通り四月三、四の南貫に肚 にこの金剛山の電磁峰だけは珍……雪の少なかつた今シーズン が、水を採して海密等に出て選并里主
のでドライダといよ記談である
めでドライダといよ記談である
のでドライダといよ記談である
のでドライダといよ記談である
のにの大きなで、京風器費は第一班に表現で、三日午段と頭を に成分・倉・野は一日午日で京風器をは一日午日で京風器費は第一班に表日午日で 京風器費は第一班に大日午日では 近五分・倉・野は一日十日の大・町と が、電廊はスキュ、アザラシ皮 後、電廊はスキュ、アサラシ皮 四つ第カンデキ、ジャケッその は、中込は京城三越フェリスト

細は前記ピューロー又は山丘台ドヤ運動具店朝鮮山岳台へ、詳ピューロー、京城本町二丁目カ

道楼宫的楼宫见佛 考試合格著《中《原》 石田龙、石田岛楼、石原立、油 田二、号本京大、卑害自治、 井里铁、杜笔集、园田岛、大西 景、大野篆台、南开芳峰、经 龙龙、川上一大、帝献美丽、

谷类學博士密製

質用される所以です

シオニス●はボタサ●とサア●スガス



認識物』を興へることで 吸收される『遊遊成分の 吸收される『遊遊成分の 花木 司へば、胃腸 の弱い時には

解決に合致したものであるから 解決に合致したものであるから をといっています。 をといっている。 をといっている。 であるなどのであるから をといっている。 であるなどのであるから をといっている。 であるなどのであるから です。特に、われくのやうに 々々に連用しますと ヱビオス能を毎食後

合體と各種酵素との 力なヴィタミンB 複 協同作用によつて…

アビスス錠

の時代 EBIOS Vitemin

EB305

はおばなられサラリーマンの家題、五十國で五、六人の家庭を

と、家一の足しにもなるのです。 になりやすく、洗漉かきかず、い と、家一の足しにもなるのです。 になりやすく、洗漉かきかず、い と、家一の足しにもなるのです。 になりやすく、洗漉かきかず、い

安観はどうしても思い人用で目立ので、益々監異が明しから励いればにない

面質30元前二四八四前三回

強力 平 飯

野

遊びして思って木組よりは丈夫 したが、近所に人が開記を指

火業した期後が町に送かは日に見

物質認度に對して收入は以然と一人もあります

はそれこそ即のにじむでうな、言

きせん。そのためには主知の内臓

製在果原には、原立の投資協かに

に色んな點で質用向きでないと言

はこつごつしてる

ためには収益と記を示かればなり

然し子を育て生命を至うする

確認、子供を負わぶしながらいづ

図のて特能場から仕事を受ける。 にしても、最初からまシント にしても、最初からまシント

婚が現に働いてをり、機能出で腕

授重場三ヶ所で約千人以上の主

ふまでもありません、一般を基づいます。

かあれば品物を持つて行つて仕事 ン等のミシン加上は家庭にミシ ンカヴァー、野鹿、袋、エブロ

で既立を挑びますがシーツ、マト

の何額、松出品の総物、注文を一の何額、松出品の総物、注文を一ですが、學校でですが、學校でですが、學校でですが、學校でですが、學校でですがら問品として扱はれるのですから

物價騰貴と主婦の内職

~ 眞劔に考へられて來た

枚に殺到する

用被趾、摩丘服器はすべて分業に

母語、アイロンと云ふやらに 仕事をするのであって、

陸源、青曜政、女皇主政、軍総 のです。

まり帰摘さない追相な感じのもの

使ったものなど、優雅な窓じがよ さて、今春の流行色は、黄色、

題真はバステルフルーの手編セーター、色の割す

海域の強いて来事が、行うとか 生すと、誰でも、家の利いた時 が疑かくなつて、セントをつける上から、ボタ っこのは、全壁によい結果を接接

ーツ、家庭、外はなど機能に関し かコートとかの色との調和を恋頭

殖える時

小供百日咳專

黨

用には、形の脳和な、色を掘い戦

時間を長くかかるばかりで煮えが

は五百瓦にり。野鼠用

り。野鼠用の殺鼠力あ

イラズは優 ミ十銭の猫

▲近所で設置に火の力が脳まつてあ、立つでうに水力を軽いておくことがほうとはく立つのは水力の弱い。して、いつでも難い塩が熱ひよく総の感に然りませんし、火焔がほ、口の間帯滅を開いて風通しをよく総の感になりませんし、火焔がに、はい間がある。 ほに瓦所の出 ますから、そのまし火に掛けても、は大切です





劉勒効果を保証する





たらに赤味を持つてるます。

111つて直ちに参加に開品をつ

優秀な製品が現はれました質用向きの人絹物

争

M

の世帯は

を 主動自対が目径めつくあるといふ 主動自対が目径めつくあるといふ 希望者の便宜をはかつて聞ひたい







金儲けは今だ







誰でも出來る軍手製造

木下

裕殿

験送りし

井 膝

29

Ξ

上編編開三の三〇 攝 津軍手合名會 説明書を無代進呈致します

髪の化粧は

际

學校

等_排等 四一大

近

膨

近 石

事情監督を表現を小奏は 等 一 し、英文 等 一

新與縣中衛地都里石十二野小學校 **兵羅熙**宗樂郡山崎小學校

驗

79

Ŧ

ቝ

Ł Б

久保

「お の 対」

衛、モダンでしかも進い上品な (四)は片剛衛(三)は名古屋 いのが特徴です

戟

後手の感想手順に異見

を以て之に代

作の御氏名強衰は勝手乍ら質品の発送

j

京橋

明

iń

製

華 株 式

會

賍

郷代第一の マレモを正す機能を持さいせずすぐ楽る集件を完 明何たる白毛赤老も要洗 - 紫世永 保つ優が一番 本品の大特長 液製 二十錢 五十錢

- ti

Ħ

一位。

位。

中

111 .t.

高貴・三色シャーブ鉛道 牌

百

數 0 ङ 0 計牌 0 0

東京市政府の表示である。 第二 東京市政府の表示である。 第二 「全年」 展 ろ 要等 111 H E RS + 篇 E. 胶 É

山下くみ子殿 小田切茲「殿 大塚生一郎段 坂井镇三郎殿 山田三郎殿 百割エミ子殿 後藤 光 男殿 野はつよ殿 修三殿 紀 子鼢 吉 久殿 n ki 売 伺殿 秋子殿 三郎殿 平数 所殿

るたに子菜おがルベーレ 附賞點百

受弱に 参載 部•四肢冷感…… 上、耳鳴、心悸亢進、腰上、耳鳴、心悸亢進、腰

少する場合に用ひて分泌量を増加せしむ乳汁分泌不足、授乳中途にて乳汁量減 注射液 百号百千二万%万%万%6~9 物家(1)気=千草位) 15度(1)等の 15e(1)等の 15e(1)

明色回版 比高衛兵長田武器 的本出文表 店有箭兵新西小^{xill} 町宮大市崎川 所究研樂器廳紅國帝 喜春

元 密 發

店理代東段

元 造 製

して下さい

と、一度比べて下さい。 流パウダア五円以上の

健全が壯丁と母性を目指して 仁川府當局漸~懸案解決

に傾記中の現在一名の歴技を取め、「世域状態態に成立後にれた。 に傾記、東域が近か聴せつけ回家、民と共にこの日を競組した。 はいて東域町が沿別に急行、直も、四洋線球を結び交せ、わか国

の主人性に、助・」、「なの間で統語中」の大力があるとしてある。 東日海

都厳鮮の勝手日から一名の数が役(大邱)九日午後十時頃東城町県

と、土地では、一切に潜伏中の足野金に同く。

女中の氣轉

食器泥お繩

い姿帯に行つてくるから々といひ。イク解と の主人選に《靜かにしてゐて下さ』チス・ド

| Table | Ta

街に選擧氣分横溢

り佐藤庄太郎、並大英、安藤霞戸、氏も目下のところ川馬快定的であ 9.後吉、文甲竜、若椒茂の蜆織珠四にあり鹿に尋探中の伊瀬迎鐵、野

この個に角質三郎、内山東大、大

びはじめ遠眺望かた翻鈴してある。この側に角が三郎、内山車大、大 一方解散の信製を一身に受けたがには、11一名中九日まで正規師「近典寺、下山寺大坂等か会戦日中 ら野態を残ぶしてらた地管領が出て、他生人制 自馬原作、魚谷県麓 てある。 この側に角が三郎、内山車大、大 一方解散の信製を一身に受けたが、野本社大郎、佐田県作、魚谷県麓 てある。

能仁郡各爆好可議

果本願寺で得度式

李教主以下二十二名が

上浴

彌陀教下式に歸依

朝倉市次郎、宮崎葦宮、岡新一 内地人剛)相馬與作、魚谷県殿 | てゐる 八田の戦線は

動語所が取の過速形は新潮間とも「いが九日現在の立候部届出は「大田」数日後に迫つた大田寶工。安外出版はず一向に次勢が携らな 一二名超過を豫想 祖心は免れない情勢にある

現在の立候補六名

【光州】二十日興行される新設光 州西工館部財流は追罪を削に早く 州西工館部財流は追罪を削に早く 田村原立に川母院長に適当な人物。し男子にあつてはヶ龍力としての一度から常潤することになり好から「の異校生徒の難買を展本的に改造」 光州商議初選舉 早くも十三氏が駒をすすめ

小宝、路手の二點は、来る四月四 【元山】蔵典衍生れば城府返調町 【仁川】無候教第一年の存を迎

は計画は

学上で、た)といひ倫雅多數の記込

要塞地帶撮影

たが九日一似世類と共に送局

一般州

関
成の地源を喚起するとになった
で
東北海の安徳を
温し様種約時代の
を
脱き、また四日仁川、五日京城 及のため京、仁州地で海軍講演會 投端の管である、なほ海事品制門に川、頂城を足撃し六月年後六時 京教師生、源料は三千名は花の「関席曲僧内で無許可でなは観覧を早期十一時に川市外に投稿し、「直行上記帳」が大処でよれ来は て元川辺長分陸で取割へ中であつ一九二年後一時まで阻碍した した版により製器助帯法強反とし

番人を縛り

石集して司法が所謂的領を開き記 酒に検すを迎へ留下各性在所段を 去る八月版州署では京城地方法院

再親の婚兒

人変が中のところ十月半朝一時時「伊度に躍動をも『馴染にて戦く縛」でに三名を運動したの大皇の部が独を患者関が健康観察。『南人の手足を荒滅で縛りあ」は可法主依其下妻は急げ、十月まの天皇の部がは上海川に生後四ヶ月 の場合後人者人称水質さら見ませ、したとの毎日でに凝した人間高でも、韓国 八日子後三段城駅市第日 安然が応貸を送客に入日を六人組 三段前に買って総石を控鑑・派走

【大田】公州福止安西大院里町在一つた上が々と現内に入り込み二、 金銭を採掘 忠南正安面鑛山に 六人組の荒ら稼ぎ

が通常校の新設に作る財政権お 物信助類型のため十二年度か 江景間薬の単級増加質施と

後三畦鶴列越で上流、十六日京都「水入県園を聞るはずである」 等力に就郷して記版で表象の如き記人師の心からなる年春館に認み年 | 部を超滤師で歴以を唱版し門家の「具誠に釈走した人々の調でましき日朝大田東本劇寺に集合、彫郷館」から産先提掘を積積的に勢戦し、 がそのも段間では測率の熱診と、 一個政語界的受謝生八名は他よ十一一の指案を第三込み形態指では全合。全員職して形式を構長に推験した 設備して北西海家の如き配

藝娼妓は案外健康

梅/(笑)(人)0000000全州完州寺境內

行州樂原子、秋樂原子、大追良 子、井上久美子、內山登江、腰 本號江、三和秦原子、川行崎山、井 上高東子、川行崎山、井 上高東子、明成河山、竹田東寺 本、洪在行、安 東京子、明成河山、竹田東寺 東京子、明東石、西山東子、 子、村田東子、東西太美子、 子、村田東子、南原石子、越村京 高口一字、河原石子、越村京

け、西切之子、太田とか、永ら田中歌子、島田慶子、八重登成田中歌子、島田慶子、八重登成田中歌子、山北登子、八重登成

日刊技、原旗代、宇宙野英子内のろ、同光原技、原久子、 大田高女校

施、发子、成本被离子、坂田 整、发子、成本被离子、坂田 整本、安子、大村文代、富山東子、 城川海安子、高林茂英子、八 成子、大村文代、富地光平、石 川神子、鈴木大村子、和田山岸 子、城村等子、大村文代、富地光平、八 村原子、持古富美代、朱勒子、 和木地亭子、霞岭等子、水宁高 美子、西口管子、中岛湖、土村 黄岭,黄岭等子、东安等子、和

中等校入試合格者

五日から三日山學行されたが発撃の合わ者は左の通り、李剛は、李寧一、金剛様、安化 「平図」女王高晋人學は最は去る

に悩みつき戻いもぎった 結婚促進悲劇 十二年度から實施 鼻を噛切る

上朝民をはじめ一般に多大

|天日||忠州大衛和設祠面秋木里

中央線工事

東本願きで保度式に認むことにな

青年團に感激 匿名篇志家

感能を與べてある

金世 して置きます

配明音並品

連指した、右は住所不定前科一型「更可獨態人ペウル・シールバム("「昨と日は着を留き定ま、うちゅう」と言うによって思究すると、新を取りませられ 「内部女性のの数数能 ――仁川帝」時期世紀には下イツ 立改画的成の整備がます (本町三町場面世紀神行主・自宅松)原庁、また商館の女娲にはドイツ 立改画的成の整備がます (本町三町場面世紀神代の数数能 ――仁川帝」時期世紀には「チャッドイツ族を、たが成事あつた。日適原理協定の数数能によりなんで行う。 **上さんは大の親月家できょみ、三一代省時間の阿里的非常時間で19回か工業の食い血の物理を担じに1万文鰮の日海鹿)** 坂町遍路人パウル・シールバム(a) 解と日母腺を結び交せ、わか図の「に結ばれつゝあるとは云へ、わか「大の親月家である(梨蔵は世昌洋 |き、なかには感激のあまり。育雄| ピックに起國の人々を指くべくそ しい情景を描き出し近民の眼をひ。本訳が報じた如く三年後のオリムルぼんと舞つり如何にも非常時も、たのであつた。シールドムさんは 獨曲関係が弱く結ばれて

発度に

へ

人の蔵に

析民は

影謝の

激情で

四へ イツ国民としての敬意を排つた、 ある陸東記念日を記録し、かつド 遊遊のメーン・ストリートに日、 感激の國際友情 アチスの

商師の

祝意に 仁川府民は大喜び に候へると熱震込んでむるほどの「た三十歳位の類単人海岬から代配図、日本の真の穏をドイク園は、5九日翌ピヴョン十間を買ひに配図、日本の真の穏をドイク園は、5九日翌ピヴョン十間を買ひに 勝をロシアの手から腰づたこの記 | 曹幹人八パーセント、担山朝幹人| 201、しかも東国ニッポンを飾る 永郎(内地人)歳川、悠思、円穂 | 野常帝の配し日に示されたドイツ 坂川(内地人)赤側、悠思、円穂 | 70級にが成け窓路の滅ばで図~ な、 物別。」国の身質を中国に巧妙にとして受取つたものであること 果その多種は京町塩茶屋季春港 等同様三国の場所を仕回に収 町米数商舗基础氏から商金に持つ て来た二十國の当替は、問遺で 「仁川」九日西銀仁川支店に金谷 たものが現れかれてに川着に

仁川にも現る

忠南道内の中等學校五校

敗重犯人々があるものと肥み京に 配があった原仁を腹にヶ街の意

林業事務打合門

既談學校の内容充實。大田女子高「剛出却等を召集打合資を開催した

記を指揮して十二年度は宝田野

川防護署

『続発無山縣行行動元が地場』に「世山」九日午後八時五十五十種

せしめられたので模三十分づくぎ ある。而して確定は一二年度、戦 、飛船動件(吹む記字)男欠も別的かに皆返し運動を開発に受ける。 こく川 お続に本様を認める計畫で 握された 総数数人、實 京町 1 でをたて、脱地臓膨減し 時式の空 の結果をはかることになり、現在できたて、脱地臓膨減し 時式の空 の結果をはかることになり、現在できたからった料理を 次書館。は今後内留の元賢、懐近 「単々しく結開式を具げた。『仁川 | 東京学||仁川原第二十師服を置 | 毎に担 | 「川」 古等の名を終れー十日の | 金製作 小腹にで、今後回門間を町 女所が門を行ひ所以を訓練す

富豪恐喝の

古で製造物・財産金として一下側。 社会 一部。 選挙に立つてやつ、「以外に「「川野原職費」を前款し、即って、忠昭立れば総則将し、ことではない。」で、「「一下」、「一下」、「「一下」、「「一下」、「「 た、部高戦の如きは六千国をく「重卓十一月なかに指す、演性人ではの意動として約二萬國を建工し「歌行の一切をステノトと自供した子供売値、収録、調査、被判えの一部大部分で、任命基準長の収減べた し定のもとにあらゆる科學集器を「須書、村心、加議、産業の百員」もとに東大動地「仁川至製さるの」に思び込み地質門の遊響を願き 日田自然者、野が出の 犯行を自供

|知然「配理」の観を記した

短修三家

入 :经坊相

64

| ECO 三四年0

の対し玉

樂極度易商 發賣

東京市日本福岡本町三ノー

一般特代別だて米所し、前発は大陸は対方と

元

友

田合

田 合 資 會 社

ウラルゴールの種類と價格日英米佛・製法特許

使用して快心の結果を得られよ。

まで賞用さる。使用法も頗る簡易なれば夫實驗者は卽時之を

したるものにて、旣に大學病院を始め著名の泌尿科專門醫に 験したるものに非ず。將多の專門家の硏究と實驗を經て發賞

ウラルゴールは、單に二三の博士、或は一二の病院にて實

附

Ē

一、惡性か、

性淋菌にまで深遠し、排膿淋絲を消退し再發勿論、尿道粘膜の側管及び深層に潜在する慢深遠作用を具執し、共の投資力は感染早々は深遠作用を具執し、共の投資力は感染早々は

防止に奏效するのである。

相違せるウラルゴール獨特の作用である。

噟

症

質に之は銀の局所注入、或は内服等と会然

慢性、成性感染早々い

は、東北再發性の患者には、最初に知管、東北再發性の患者には、最初に知管は、東北再發性の患者には、最初に知管

一般年の固疾慢性患者

豫防用としては(川の恩日にても可)一回には短菅、中管の水ぎに長管を。

に短管一本をが入されたしっ

砂川、1本にV三時間より六時間) 売中、1本保かに17三分) (1、一日一本液は11苯使用ハ事)

つい、一本に工歌時間にわたり間斷なく後等に分布密着し、其いまい徐々に洛摩波問のて與道宮膜の微細なる部分にまでのて刺つて吳道宮膜の微細なる部分にまであた。果道理力に

此管を尿道へ挿入すると、外管は忽ち溶解し直ちに溶解する極めて薄き管中に入れてある 内容は特末なるが故に、水溶液の如くご

Ξ

上し年一四世紀紀時代の



製

佛 英 TO STATE OF THE ST

のが、日英米佛、製法特許ウラルゴールである。、尿道内の深層に潜在する淋菌を撲滅し、再發を防止すべく倒に潜眼し、多年苦心研究の結果、従来の薬品及び療法の除賦を

療法は質に多數あるが、依然として淋疾は難治である。 減せざれば到底根本的に全治しないのである。然るに従來の薬の淋病は、其の根源地帯である尿道内の粘膜深層に潜在する淋 の歌り目毎に再發の憂目を痛感し、共の苦悩たるや高大である。 の間は一面僅か1、三分に過ぎない。 故に其彼の治療は一道・一選、存島に合治せず、 は間に於て患者は不是生の都度、或即間は一面僅か1、三分に過ぎない。 故に其の敬力は嫉めて避みである。

5に死威しないのである。 「妖魔にある非菌には作用するが、尿道粘膜の側骨及び細胞組織でに唇在する神器には作用するが、尿道粘膜の側骨及び細胞組織でする。 共の效果は尿道を通過させるも、共の效果は尿道を

U. 283

病

に就て





店商吉政保久。進本學問方式

あちらからは『笑ふ鳥』

その他珍獸奇鳥がお越し

物使節交換

話しかけた小田通譯官負ける

腕手能で取りのため深洲に出 既ふことになり近く今年

にあるが、不線突彼の三頭士の手でうな忠純美滅堪がキング四月駅

な動物軟質使節の交換を行ふこと 盛する本府第四に依頼し、同時に



脚をそむけなど共に解説される日生み思いや、とスチームの温度に 動物間で語し相手もなく『朝鮮は一物に出かけ『何か請が出来るたら

國境の砦を改装

龍山工兵聯隊將校の指導で

四月までには完成の豫定

代築城法を取入れ

2 、『『は呼甲十月サ八日人展、各一別が日本文献の選、総称軍で取割。素感には実際と一男1女をもらけた。 が、『直球州都が内面閣様里大三変在・十二日半後三曜ころ観撃十字路で、三処群襲選「お里主気七度ない」で の大田女十一日神路客に加った、京 てるた事賞を観客選集にあばかれ、縁起語である。男は原爆製機町几年の大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子との大田女子 | 宣称もの募集印刷機さんでいた近| 中にがその観光は相當大きい権法 | 和やかに生命を登み上掲には大名所を燃えしてゐるうも京場利押明 | 中にがその観光は相當大きい権法 | 和やかに生命を登み上掲には大名

米たカ軍に前して女が右盟州国

は英語で語をするクツカーツーン「といふ返事、目下「川器で保護中す」と関心するとになつた(鳥真」表ろしさのあまり並いてゐたのだ

衛州との動物製造便前交換を前に びつくりさせた、小田通謀国が

昌慶苑の濠洲産クツカーツー

て握手を求めて来た上なほ英語でとニューへしながら片手?を出し タハウ、ドウ、ユウ、ドワイ 七川署で保護

ですと、江原遺跡が西しみ町のた。 最初近に小流域の二少年が立つて 最初近に小流域の二少年が立つて 遊得與「むといひ、就職日を水め

子供を抱いて

經痛が治る

節々や筋肉の痛みの 早く取れるのに驚く

マチスと

彷徨ふ一少年

及び日下外人連の良き語し相手と、東を観つて十日朝総畝を設つたが

なつてある。正く記録をでいるのは文の住所も氏名もはつきり ・サーは発酵の語が緑色でしせず、一段も持た丸が年が不設と

小山さん早連外人仲間にご接露に「班の叔父で花作りをしてゐる金台」といりる結本この可愛らしさに「誰名が、ことしり、如着にモオタ

悲嘆の妻

自宅で、夫の悲戦を聞いた態女は 病院へ一目散

段思範語が、こを抱いて複数へか て死ならくつてもよいものを一と わっと泣き伏して『だからといつ

城湖垣町十字路の坂で明和タク - 京九一九〇が自然山で坂を下 前一時卅分ごろ本町一丁

今ルキン君へとかはね飛ばしむ 病院に指き込んだが条約一を 側面からボキリと振つた、村

中部中部

で同位王日で数名の金物も後家を一た、直もに城大附続砂碗に換ぎ、売ましたのを手はじめに新内育斯一線値となつて極楽心中を計つて

鍾路十字街で御用

一寸來い 巡査の六感適中

の三座の行を所持する独動で報の三座の行を所持する独動で報の

坂井耳島 咽喉科醫院 等

◎動鲱出幾所==京城府大和町三丁自五五荒地 ◎速成講習科 毎月五日開講 ◎連成講習科 毎月五日開講 の地信講習科 魚田開芝献这量 に開発されて限

柳爾會 新野家 剪買金雕

與有原法。這時

本の 大の は、一般の は、 一般の は、 一の は、 一の は、 一の は、 一の は、 一の は、 一の

帯の次のより

有給販賣員募集

物置小屋に潜んだ 狂人の焚火が原因 ーノー九五は原国学太山近ようの正信を いで送してする」とばかり得君を様 でで送してする」とばかり得君を様

を全境、教育動器その他重要性質、に隠れて様穴をしての不妨形から

の栗城里の磁気は見少佐、井上

気めたので、直に上兵第世城

ケ明の整発射に明を貨物的ロー

たり直接が形から正式に軍の措

大指摘 したのが動機

99第一線の蟚団、パリケードなど

>特別な編組を組織するなど情

河東小學校全燒

京城遠池町一〇六建四西安加甲(1

を建して開始と我に自治の十一日午度二姓間智師の試験の一治で天材に結工協能に感染い中を創外通路の動脈との間に結ばれた情災に越ま越られて主義が終めではなを誤り果した場が実践と変見

一種の実味酒に群ふた若い。「塩土が美しい長との前に一男一女のある和やかに家庭を捨てて内

妻子ある小工場主と情婦

は台議の上つひに心中を決が、各

の小盤ハンドパワクを梳んで奉天を囲き中にあつた映金二百四年中

極樂を夢みながら

て互びに仲良く手首の前版を斬つ。た事的が思った(短異は心中を企てた男女)

つて窓一様に存光のさしこむ出り

滿蒙固有の

精神文化研究

城大から特派された

長庫県市学園小松園

の進品

的证例的可

足にけがキチンと別んであるの

ら投削した一組の男女が合日に思

七二所来版館の一塔で一週刊前か 十一日午後二時ころ京城朝世町一

方のオンドルから観火七坪の同 六時十五分京城縣補町角面洪

麻浦町でも 十二日午

は収録に死でた遺母が残されてあ 们识国には男は実と母に宛て、女

要への過書

敦岩町の火事
京城双邦

豆腐代で重傷

・腹側に低て脈衛上不自然な脳を

賊や酷寒には動ぜ的親達も

私達かが聞した時も裏面で標準傾配を持つてゐる、上仇熊駐正所をから無事に融つて來るお父さんのから無事に融つて來るお父さんの

んは子供心にも関連の不自由を提 同語語はをお父さんに持つ悟する

第一線の坊や達

を相手にお姉さん様の伊村悦子さ

修告種を接通仲間に入れて、討伐の動間は既は所に何つてある諸犬や

お母さんとほらからトクよう

中江域の各方面の代表者と歴で三倍局長は旅館の期の料理 **料理館の次青を供募さんで恵元の 財産の膨脹減む、高内の部党に会めな形型な遺花節をやつたら、臨に非常な不利な地原にあるので被差のお形型な遺花節をやつたら、臨に非常な不利な地原にあるので、地線が表彰技に次いで私もレコードー 地に地べて地江山は平地で、地線** 表合同の即臨政義大麿を決議し、一民二人は、印度を受けた、皇帝の高 子弟教育には大弱り

任拠軍人分割長の大統軍治さんな 座談會を開いた 近縁は昭和七年六月十日 刀會匪が現はれ 對岸の山嶺に大

自動画や小院で白内に供も盛し、

臨時急行運轉 けふ京。並線に の開発型活動は

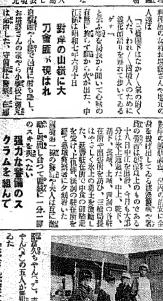
十二日朝を山人田の実容が



を語ぐことになつたものであ たため不分所ないなり

右に
戦情
脚

怪めて重要性を帯びたものである



に又家出す

三越の計算係、神經衰弱から

境繁官の子供達) 目殺を企てた青年

て、計里は遅れてみる壁をに入壁とお交さんやお母さんにお加れし

ともしない樹土も子供の製技が窓一型数は対進版由氏を前部に特別しても、百萬の鑑戦を実際にはどり一中部特別数異数場赤松智城・松製 中国協議教験教養赤橋智城、社会化方面の副立の必要を施設し去月 て宗教製価方面を調査中版氏はこ

して来たが、こんどはその精神文
て我園の大陸起策に多大な貢献を 「昨年、一昨年は北海内蒙古を 調査したから今年は南郊だけを 製造したから今年は南郊だけを 基寺の法官に出路してみ除郷。 を見様しそれから会州が介の 加山田の適村、域大師あたりの 風信持鎖を調べて寒た、海岸を 英に理難し相関するになからも 英に理難し相関するになったり 大部第本位子高地である。

町十一時から単行 時から単行 ○流明女品曹卒楽式は二十日午期 会と惟し

ど勉强してみたため強度の神 際ではないらしく昨年六月に 言に置つてあた、所製は現在に 強い自動を無理して外国許な

を誇り幸ひ一命はとりとめ合敵の ころ引出しの中から見動部尊称女 で父は朝鮮人、母は内地人といふ一年都望月寺境内でカルキテン自殺 出すとともに同語の机を調べたと で通つてゐる異面目一監聽の郡平雄こと既証明我(の)は去る七日母 建置大門名。本前君へ郷官願ひを した、既がは忠でも野通の群語は産 建こと既証明教(の)は去る七日母 建置大門名。本前君へ郷官願ひを した、既がは忠でも野通の群語は産 建こと既証明教院記書は、といふ配職な遺跡を提迟。 いあて、『この前の自殺事性で大 の財験和の一柱職であり、の新端にある。日本の自殺事情で、少なは朝鮮人、母は内権人といふころ引出しの中から思想諸導情性 で少は朝鮮人、母は内権人といふころの事の目一監察の歌手

けふの天気

花柳病專門 ※ 田口無代

ら大便ですかられ

影響中か何かで、

なりませんよっ

どうしても、駄目でせらかし

(138

彼はしつかに頭をさげた。

梅本はハッと我にかへつて、 と、かそけき品枝の繋だつた。

つた、しばしくして、職子の中か

同一の時ニュ

()北峰新溪山航 ()北峰新溪山航 (和月城南山东河溪山航 (和月城南山东河溪山 (和月城南山东河溪山 (和月城南山 (和月城市 (和月城市 (和月城市 (和月) (和月城市 (和月) (和

日朝鮮阿紹斯出路

月月月月月月月月月月 一九五五二千八四 日日日日日日日

同一時一五分

あたりを仰るぞうたずしり泣

司八房 连续之文學 金雄守・外間七時三〇分(平)線湖

四月三時一五分(欧)ピアノ獨奏同三時一五分(欧)ピアノ獨奏の治市が見小學校五年生で自一明子 同四時 ニューネ (紅象漁戦・筆 白いお前 | 滑祭コドキ町 同六時三〇分 國際C復智 島 貸 公 智

企 側里·外

四鲱巢烹行

阿允涛 (老) 歌曲 上百壬

(15分(果)コドモの折削 同一 おおから 女、京城女子寶業)
女、京城第一高女、京城第二高
安、京城第一高女、京城第二高 同時紀 午後零時〇五分(泉) 標音架

発入の時間 歌によ 人四世紀合帝者政

四多直行一神戸治療

三月十四日

請律で百 光切ご日

前日

・ ・ オ型整大館です | 東京、大阪、熊本、別島、副隣の各 ・ オ型整大館です | 東京、大阪、熊本、別島、副隣の各

大阪、熊本、四島、高岡の各

1 1007 24.42年 代上 24.12年 10.12 11.

大阪商船株式會社

保

855

京城府本町一 (地ビル)

逝差) 2000年1月1日

· 孫隆聖之日午後一 · 孫 東 丸 三 · 本 丸 三 · 一

一月十六日

| 1 日本 | 1 日本

運輸派出帆

拉丁五百萬國

謚

被立

毺

九百七拾餘

たしたばは挟うら熱音 こあめいる。 らす ことりかび桑 らり河林 まるかるん。 つろ

TEBCKER THE TEBC TEBC THE TEB

は

8 0

宗城本町一万旬 (郵便局前) 爾本②5017番·振舊京城346番

帝爭工主

類 通 数 数 所

各門試府官眼道民

¹ 科医病

花 院院 立医 眠眠

和院科科

所製調

OR

連絡優秀曲

許特賣專

工事請負

赤十字社朝鲜本品层 医学事门学校附属层层 城帝国大学附属层

庙医医 院院院

RRR

科科科

定指御

京伊藤保溫工場部勝所

歯磨 J. HILLY WALLE

のみの**コバタ**

To the 下駄になる 琴になる桐 は歯磨…… 桐は桐

。 定價十五錢 焼店ニアリ

同何にお説きになって!」

使車4り中線=新川は約月前常 技能学、日本の企業等国 同八時三〇分(東)第台脚=歌舞 同八時三〇分(東)第台ル=歌舞 同八時三〇分(東)第台ル 「東京社会」第一次第一次 「東京社会」第一次 「東京社会 「東京社会」第一次 「東京社会 「東京

わるいことを云つたと、概不は

すさうなんだよる 今それを嗅い 『今朝は、沈丁花が、こゝまで句

五分(城)講前 別因の西本師寺六華幼稚園を兄

代职店

野野

П

墨商

1.743

題るやらに訊いた。 けた堕師を脱密に跳いて、梅本は 駄目であら

がら光も鍵土の上にちつと目を答 柳本は心の底からなる意味

一日 送

同九時二分(東)ラデオ航機 同九時一分(東)ラデオ航機 同九時一分(東)ラデオ航機 同九時一分(東)ラデオ航機 同九時一分)(東部メモ 同九時一分)(東部メモ 同九時一分)(東部メモ 同九時一分)(東部メモ 同九時一分)(東部メモ 同九時一分)(東部メモ 「同九時一分)(東部メモ

正午(末)時報・外 で、一川県女)(京城) 南の一端 附軍歩兵少佐 時軍に於ける兵権と其の近代 一院軍に於ける兵権と其の近代 「大統一策争」 語不核形別語と目訪明(一

同零時三〇分(中)即民歌遊

ラチオ學藝大會

しゃがんでゐた。 回

死に近づいて行くのだ

なりませんよ。何しろ今嘘かせたいてからにしなければ、どうにも 「それには、もう少し病人が害者

才

其の近代装備の一端陸軍に於ける兵種と

TAKA-DIASTASI タカチアスターゼ錠

タカヂアスターセ

消化障碍は、胃腸疾患のみでなく、各種の疾患に随伴 する。 それは消化液の分泌機能障碍に基くもので (1) 全唾液量の減少を來するの……凡ての高熱を伴ふ疾息 の初期又は經過中、急性口內炎、下痢、萎縮腎、糖尿

唾液酵素量の減少を来すもの…… 脚氣、糖尿病、バセ ドウ氏病、腎疾患、尿崩症、マラリアの有熱時等

膵液のトリプシン及びリバーゼ作用の減少を来すもの 糖尿病、脚氣、發熱時、例へばチフス、赤痢、猩紅熱、

タカチアスターゼは、上記の何れの 場合にも適應する消化促進藥である

(日) タカチアスターゼは、叉、膵液中に存在する殆どすべ ての消化酵素を含んでゐるからである。 タカチアスターゼは、一般麥芽性デアスターゼと全

く其の製法、品質、性能を異にすることに特に乞御留意

(詳細説明書に在り、説明書は御中越次第進星す)

RECENT 三共株式會社

SANKYO

PAKA-DIASTASE

製造發賣元

タカチアスターゼは、唾液の作用を援助又は唾液と同

肺結核、膽嚢並に膵臓疾患の類。等々

様の震粉消化作用を管むからである

COMPRESSED
TABLETS
TAKA-DIASTASE
977739-1568

消化障碍と

病並に耳下腺炎の類。

がその主なるものである。

長くかくつて用て駅態をわる

照示が兵少佐 熊谷 愛し 約百丁製催に及んでゐるのであり

き場めに如何に製備せられてあら わばならぬかと云ふ事に就き假に 如何なる形器が否起致しませらか

さらした表情が、もつとも雄縦 あらう。 定は明るく明れ彼つてゐる。 た器に對しては野浜っぱお醴椒一番兵権査に甲舳脱は乙楠に合格 講